

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年1月11日(2022.1.11)

【公開番号】特開2020-116079(P2020-116079A)

【公開日】令和2年8月6日(2020.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2020-031

【出願番号】特願2019-8951(P2019-8951)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年12月6日(2021.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、遊技機に関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

このような遊技機では、遊技の興趣を高めることができなかった。本発明の目的は、遊技の興趣を高めることである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

以上の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、

遊技球が入賞不能な閉状態と、遊技球が入賞可能な開状態とに変換可能な変動入賞装置と、

所定条件の成立に基づき変動表示ゲームを実行する変動表示ゲーム実行制御手段と、前記変動表示ゲームの結果が特定結果となった場合に、前記変動入賞装置を前記開状態に状態変換する変動入賞装置制御手段と、

前記変動表示ゲームの変動パターンを選択する変動パターン選択手段と、

前記変動表示ゲームにおいて前記変動パターン選択手段により選択された変動パターンに対応した演出を実行する演出制御手段と、を備え、

前記変動パターン選択手段は、

前記変動表示ゲームの変動時間として、予め定められた複数の変動時間のうちから一つを選択可能であることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、遊技の興趣を高めることができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が入賞不能な閉状態と、遊技球が入賞可能な開状態とに変換可能な変動入賞装置と、

所定条件の成立に基づき変動表示ゲームを実行する変動表示ゲーム実行制御手段と、
前記変動表示ゲームの結果が特定結果となった場合に、前記変動入賞装置を前記開状態
に状態変換する変動入賞装置制御手段と、

前記変動表示ゲームの変動パターンを選択する変動パターン選択手段と、
前記変動表示ゲームにおいて前記変動パターン選択手段により選択された変動パターン
に対応した演出を実行する演出制御手段と、を備え、

前記変動パターン選択手段は、

前記変動表示ゲームの変動時間として、予め定められた複数の変動時間のうちから一つ
を選択可能であることを特徴とする遊技機。